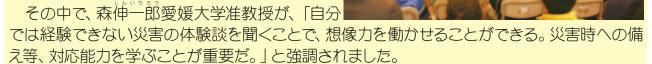


タレントの「さかなクン」を招き、幼児、小学生とその保護者、約500名が参加して、「さかなク ンの食育普及講演会」(主催、町食育推進会議)が、御荘文化センターで行われました。講演会で は、「さかなクン」が、カツオ・養殖タイ・ヒオウギ貝などのイラストを描きながら、それぞれの生 態や特徴を楽しく、そして詳しく話すと、会場から驚きの声が上がっていました。また、愛媛大 学の学生が、参加者に「ぎょショックカード」(愛媛大学の共同研究チームが開発)をプレゼントし

3/8 小中学生を核に、防災教育を推進!

久良小学校で全校児童と地区住民約60名が参 加して、「愛南町における防災教育の推進に関す る協定」の締結を記念した「久良防災フォーラム」 が行われ、柏小学校教諭の飯田豊一先生の「人・ 地域のあり方と防災 | と題した講演や森伸一郎 愛媛大学准教授、高齢者及び小学生、計11名によ る地震津波災害での体験談を基にした話し合い が行われ、活発な意見交換が行われました。



3/9 僧都っ子、大活躍!

ていました。

松野町出身の俳人、芝木器男を顕彰する 「第55回不器男忌俳句大会」(2/22)が行われ、 僧都小学校3年、宮本竜碧くんの「ざっ草が気 をつけしている朝のしも | が小学校低学年の 部(約3,760点が応募)で最優秀賞に輝きまし た。

また、「平成20年度歯・口の健康に関する 作品コンクール」のポスター、啓発標語の2部 門で、同小4年の佐藤恵さんが、見事、第一位 (昨年末の愛媛県審査)となりました。ポスター は、全国審査でも優秀賞に選ばれています。







2/20 津波が来たら、まず、逃げよう!

柏小学校5・6年生が、過去の自然災害等での先 人の経験や知恵をまとめた「四国防災八十八話」を 活用し、「命の大切さ」を学ぶ授業を行っていまし た。5年生の授業では、高知県土佐市と徳島県牟岐 町の津波被害の話、「もし、津波が来たら」を題材 にどう自分や家族の命を守るべきなのかについて 学んでいました。

2/22 響け、私たちの歌声!

御荘文化センターで、「第3回愛南コーラスフェスティ バル」(主催、合唱団コスモス)が行われ、町内の少年少 女合唱団やコーラス・ラ・ラ・ラのほか、宇和島合唱団、 宇和島市民合唱団など計8団体、250名が出演し、踊り や歌を熱唱しました。

また、各団体の異なったハーモニーに、満員の会場か ら大きな拍手が送られていました。



2/27 親子で楽しく食ベタイ!

町ぎょしょく推進協議会が、子育て支援センター「こあ ら」に通う親子、19名を対象に、「親子で楽しく魚を食べタイ ぎょショック調理講座!! を城辺保健福祉センターで行いま した。実習では、愛南漁協女性部の皆さんの指導で、真鯛 の三枚おろしや鯛飯づくりに挑戦していました。また、幼児 たちは、鯛の塩釜焼きにも挑戦し、鯛が卵白と塩で隠れる 様子に大きな歓声を上げていました。

一本松山村開発センターで、 約200名が参加して、「第8回見つ めてみよう」人権コンサート(主 催、一本松公民館)が行われ、一 本松シンガーズ、一本松中学校 音楽部ほか、計9団体が出演し、 美しい楽器の音色や自慢の歌声 に乗せ、人権の大切さをアピール しました。また、一本松小学校6 年生が、手話を交えた人権劇の 中で、優しい気持ちで友に接する ことの大切さを発表しました。

今後、この思い、優しさの輪が 多くの方に伝わることを願いた いと思います。

